

特別授業（1月15日）に参加した1年生のコメント

最初のプレゼンでは正直ほぼ何もわからなかったが、日本語で説明されるとスライドの単語の中にも読めるものがある、「簡単な表現に落とし込む」ということの大切さがよく分かった。

ドイツ語の勉強法を先輩から教えてもらえて、2年以降にどんな風にやっていくかを知ることができたのでこれからどうするか考えていきたい。

今後もドイツ語を継続して学んでいくには、生半可な気持ちではやっていけないことがわかりました。トライリンガルをやっている先輩方はみんな明確な目標やモチベーションをもっていたので、自分は今後ドイツ語をどう活用したいか考え直すべきだと思いました。専攻以外のことを自主的に4年間続けるといのは大きな強みになると思うし、たとえドイツ語でなくとも、なにか継続してやってみようと思いました。

ドイツ語に関してだけでなく、自分がこれからたくさん学ぶべきことを学びました。弁論大会に参加したことやドイツ語を4年間学んだということは将来自分が就職するときに役に立つし、目標に向かって積極的に取り組んでいく大切さがとてもわかりました。また、ドイツ語に関しては自分の使える表現を使うことが大切とわかったので、これからは自分の使える表現を使うことを意識していきたいです。

最初はプレゼンの内容がよくわからなかったが、スライドをみればなんとなく何について話しているのか分かったし、日本語での話はとても興味を惹かれるものであったこともありプレゼンの完成度に圧倒された。

最初のドイツ語でのプレゼンは正直圧倒されてしまって意味や内容を飲み込むことができなかったが、淀みなくしっかりとプレゼンされている姿がとてもカッコよかった。また、ドイツ語を勉強する上でのモチベーションの重要さや選択肢をたくさん知ることができて非常に参考になった。

ドイツ語のプレゼンはまったくわからなかったけど、これからはドイツ語を勉強していくとなるとまずはドイツ語に対する好奇心が大事になってくるということがわかりました。トライリンガル養成プログラムがどのようなものなのかが少し理解できたので2年次以降どうするかを考えていきたいです。

将来はドイツの移民の政策や移民に対する教育の仕方をドイツで学んでみたいと考えています。なので、ドイツ語の読解のクラスがあって、それを自分の専攻につなげていたりしている先輩方の話が聞いて良かったです。

四年生の方のプレゼンや話を聞いて、自分もドイツ語を頑張ろうという気持ちになれました。自分はすでにほかの特定プログラムに入っているため、トライリンガルプログラムもやるというのは難しいですが、とても魅力的に感じました。とりあえず一年生の間はドイツ語の授業が続くので、あと残りわずかですが意欲をもってドイツ語の勉強を頑張っていきたいです。

大量の知らない単語にあてられたのが新鮮でした。その後の勉強法の説明も示唆に富んでいました。

2年生以降ドイツ語の学習をとするならばどのようなものになるのかあまりわかっていなかったが、今回の授業でよくわかりました。また改めてドイツ語に対する興味が湧き、しっかり勉強していきたいなと思いました。

ドイツ語を学ぶにあたって、モチベーションとすべきことは、自分がどのレベルでどのように使用するつもりなのかといった自分基準にして学ぶということを知り、自分の使える表現よりも使いたい表現を学ぶことを意識したいと思った。

先輩のプレゼン発表のもちろんドイツ語も素晴らしかったですが、内容も面白くて、とにかくすごかったです。まだ自分はトライリンガル養成プログラムを受けるか迷っているので、トライリンガル養成プログラムを受けている先輩方からどんな感じなのか聞いて良かったです。そして就活の際にも4年間ドイツ語を頑張ったということは強みになるということを知り納得しました。また、毎日コツコツと勉強することでドイツ語を定着させ、若いうちに学習し、定着したものは一生ものになるということに魅力を感じたので頑張りたいです。

ドイツ語のプレゼンというなかなか味わうことのできないことの実験がどれほど自分のアドバンテージになるかを吉井さんの話を聞いて感じることができました。そのほかにも他の専攻をとりながら、ドイツ語の勉強をするというのは想像だけでも大変で、それほどドイツ語の熱意をもった先輩方を聞いて良かったです。

二年生から西洋哲学を専攻しようと考えており、その為にドイツ語の学習を継続すべきか悩んでいたため、今日実際にトライリンガル養成プログラムに参加している先輩方の話が聞いて良かった。学習に対する姿勢も学ぶことが出来、非常にためになった。

一度聞いただけではプレゼンの内容を理解することは難しかったが、初學者の私でも聞いたことのある単語が何度も出てきていて、吉井さんがのちにおっしゃっていた「使える表現を駆使する」ということの大切さを体感できたように思う。吉井さんのドイツ語スキルはもちろんのこと、自分の感じていることを言葉で明示する能力やPPTスライドのわかりやすさなど、勉強になることばかりで、とても刺激的な時間だった。実際にトライリンガル養成コースを受講している先輩方の話を聞いて、今後のドイツ語学習のモチベーション向上につながった。

自分の言葉で話せるようになる、ということが大切だと先輩が教えてくださったのを聞いて、これは英語においても言えることだなと思いました。今IGSで英語を日常的に使う環境にいるからこそ、その能力の大切さを痛感しています。もちろん文法あつてのコミュニケーション、リーディング、ライティングなので、そこを疎かにしてしまうのは避けるべきことですが、いかに「会話」という形でのアウトプットができるかが、今後何かしらの機会にドイツ語でのコミュニケーションをする際に必要になってくるなと思いました。IGS必須留学でドイツ語圏に行きたいと思っているので、今後ともドイツ語を頑張りたいです。

初めのプレゼンでは流暢なドイツ語や知らない単語に圧倒されましたが、その後の先輩方のお話を聞き、継続的に復習を行うこと、留学や大会への参加といった経験を積むことが言語の上達にとっても役立つのだと分かりました。また、言語を使うときに分かる表現を使って言い換え、自分の言葉で伝えようとするこの大切さも改めて感じました。

今日の授業は多くの刺激がありました。多くの先輩方が自分の専攻とは別に+ α で自分の学びたいことであるドイツ語の勉強を頑張っておりその自ら学ぶ姿勢を自分も見習わなければならないと強く感じました。専門科目だけでなく自らの知を広げるような勉強に主体的に取り組んでいきたいと思いました。

トライリンガル養成プログラムがどのようなものなのかを実際に先輩方から聞くことができ良かった。また、自分ができる表現で話すことを心がけるということの重要性を改めて学んだ。これから先も学習を続けるならば、授業自体を大切にすることはもちろんのこと、自分の専攻との関連を考えたり、そして何より、ドイツ語が好きだという気持ちを持ち続けることが何より大切だと感じた。